

ふれあい通信

215号

発行日
2021.4.2

医療法人社団 矢野神経内科医院
地域リハビリテーション デイサービス癒さあ 居宅介護支援事業所

パーキンソン病と レビー小体型認知症

パーキンソン病を長年診察していると、ドパミン神経の変性・脱落とレドパおよびドパミンアゴニストの薬物の作用によって種々の運動合併症が生じ、日常生活に大きな障害がみられるが、その他に自律神経障害(失神、起立性低血圧)、認知機能障害、排尿障害、うつ、睡眠障害(レム睡眠行動異常、睡眠時無呼吸症候群、下肢静止不能症候群)など多彩な症状がみられ、いわゆる全身疾患である。治療は第一に薬物療法であり、リハビリを含め非薬物治療を行なっているが、治療に難渋しているのが現状である。

病的には α シヌクレイン蛋白を構成とする神経細胞封入体(レビー小体)の出現が神経変性となっている。

1970年代に認知症とパーキンソン症状を伴う患者の剖検から、大脳にび慢性にレビー小体が見られ、1995年にレビー小体型認知症が提唱され、アルツハイマー型認知症とは異なる認知症と判断された。パーキンソン病に認知症を伴うことがあるが、レビー小体型認知症(DLB)との区別は困難である。DLBは進

行する認知症があり、認知機能は変動し、具体的な反復する幻視とパーキンソン症状を特徴とし、その他レム睡眠行動障害、転倒、失神、起立性低血圧、尿失禁、うつ状態および薬に対して過敏性があり、特に抗精神薬には注意を要する。アルツハイマー型より生命予後は悪く、認知症の進行も早い。介護に抵抗し、暴言・暴力がみられ、夜間の異常行動から家族の介護負担は筆舌に言い難いものがあります。

パーキンソン病はレドパの出現で初期には改善をもたらしたが、進行期では難病であり、DLBは認知症の中でも治療がむずかしく、介護に大いなる負担があり、薬物療法にも限界がみられます。この2つの難病に対して、医師として早期に鑑別し、患者・家族と共に病状を理解し、共に助け合い、ケアをすすめていくことが今求められていることだと思います。



人間愛

矢野神経内科医院
院長 矢野 博明

もの忘れ外来

年齢相応?それとも認知症の始まり?

おかしいと感じたら、「年だから」と放置せず、早めに当院へご相談下さい。早期発見が大切です。

こけし

”春を感じながら“

春は、花が咲き始めるとも素敵な季節ですが、それだけでなくまた何か特別な感覚があります。

年度の替わり目で卒業や入学の別れや出会いの時期、また進学や就職と新たな旅立ちの時でもありません。不安の中、夢や希望いっぱい歩み出そうとする時です。まだ肌寒さが残り、春の強い風が吹いているこの季節を感じるとなんとなくドキドキワクワクする感覚になるのです。もしかしたらいつかの春に感じた大切な出来事や経験を、その空気と一緒に心と身体が覚えていて、その時の感覚が無意識に思い起こされているのかもしれない。皆さんは春を感じながら何を思いますか?

診療室から

「コロナ」のワクチンは 当院で接種できます



副院長 矢野 博一

新型コロナウイルスのワクチン接種が日本でも開始になりました。約2万2000人の先行接種が終了しましたが、副反応は3人だけに見られ、しかも重篤な副反応はありませんでした。今回のワクチンはメッセンジャーRNAワクチンと呼ばれるものです。

厚生労働省は高齢者や一般の方のワクチン投与は集団接種を中心にした考えです。しかしながら場所と時間が限定されるために不便で、さらにはかかりつけ医ではない医師が接種することになるので不安を感じる人もいることと思います。当院でワクチン接種が出来るように自治体に申請しておりますので、通院中の方は勿論、希望者はどなたでも接種が可能になります。現時点ではまだ決定されていない

ことも多く、特にワクチンの供給量に関しては未知数ですが、情報が入りしだい院内掲示などでお知らせしていきます。

今回のワクチンに限らず一般的なワクチンの重篤な副反応は2種類あります。まず1つ目は接種直後に起きるアナフィラキシーです。ひどい場合は血圧が低下し、意識障害が生じショック状態となります。今回のワクチンに関しては海外では10万人に1人の頻度で起きています。アドレナリンの注射を用いて適切に処置することでほぼ確実に対処できます。

2つ目は接種1か月以内に起きる脳炎や神経麻痺などの神経症状ですが、今回のワクチンではまだ報告はありません。

また感染力の強いと言われる変異種に対するワクチンの効果も気になるところですが、今のところワクチンは有効と考えられています。

発症や重症化の予防には90%以上の効果がある今回のワクチンですが、一度接種すればよいわけではなく当面はインフルエンザのように毎年ワクチン接種を行うことになるかもしれません。

※内容は執筆時のものです。

診療部

心も体も元気にし、コロナから身を守りましょう

コロナウイルスが猛威を振るい始めて1年が経過しました。感染拡大により気づかないうちに不安を感じ、ストレスが溜まっている方も多いと思います。自粛生活の中、感染予防に努め過ごす日々が続きますが、ストレスを少しずつ解消し健康な体・元気な心を取り戻すため、ストレスに対して考える良い機会にしてみませんか？

ストレス過多の状態になると自律神経のバランスが乱れ、不眠や食欲不振、疲れやすくなるなど、体に不調が起きます。コロナ感染拡大で身についた生活習慣を見直し、自律神経のバランスを整えましょう。

ストレスに強い体を作るために 行いたい毎日の習慣

- ① 朝、目覚めたら日光を浴び、朝食をとる。
- ② 1日1回3分間程度、ゆっくりとした深呼吸をする。
- ③ 適度な運動を行う。
- ④ こまめに水分を補給する。
- ⑤ 寝る前にお風呂に入って、湯（39～41℃）につかる。

ストレス過多になると 大きな病気の誘引につながります。

また、ストレス自体が高血圧や糖尿病のリスクを高めるなど生活習慣病の危険因子としても知られています。不調が続く場合はご相談ください。また、年に一度の定期健康も忘れず受けましょう。

今年も健診の時期が近づいてきました！当院では、例年通り射水市・高岡市の特定健診を行う事が出来ます。コロナ禍の影響により、運動の機会や食生活にご苦労されていると思います。今の健康状態を知り、健康生活を過ごしましょう。親切丁寧な説明を心がけておりますので、お気軽に安心してお受けください。

地域リハビリテーション部

矢野デイケア 作品展

今年は、新型コロナウイルス感染予防の為、作品展を中止とさせていただきましたが、デイケアに来所いただいている利用者様を対象に、小規模でデイケア作品展を開催させていただきました。(3月12日～18日)

来年は、新型コロナウイルスが落ち着き、
作品展を開催できることをスタッフ一同、心より願っております。

誌面上ではありますが、その作品の一部をご紹介します。

作品 紹介



デイケア 共同作品



貼り絵の「こきりこ」と「曳山」,張り子の「丑」は共同作品です。

デイサービス癒さぁ

季節の壁紙を背景に記念撮影

今年度のデイサービスでは、壁紙づくりを皆さんで楽しまれています。季節に合ったモチーフを、手伝っていただける方々で協力して作って頂いています。壁紙ともなると途方に暮れるほどの作業量ですが、皆さんでそれぞれ分担してもらうとどんどんと仕上がっていきます。そういう時、ご利用者様皆様のお力はすごいものがある、この力を何かに生かせないものかと感じる毎日です。

もし、地域の方で何か手伝ってほしい方がおられましたら、癒さぁ手工芸部に一報をお願いいたします(編み物、縫物などの巧者が皆様のご依頼をそろってお待ちしております)。

素敵な笑顔が
たくさん撮れました!



出来上がった壁紙の前で誕生日の方の記念撮影！
素敵な記念写真がいくつも撮れ、皆さんも喜んでおられる様でした。

12月のポインセチア



1月のだるま飾り&干支飾り



2月のスイセン



医療法人社団 矢野神経内科医院

●矢野神経内科医院

〒934-0011 射水市本町1丁目13-1
office@yanoshinkeinaika.or.jp
FAX 0766-82-5110

●矢野神経内科医院 TEL 0766-82-5150

●矢野神経内科デイケア 定員 午前20名 午後20名
TEL 0766-82-5128 FAX 0766-53-5735

●矢野神経内科訪問リハビリテーション
TEL 0766-73-7703 FAX 0766-53-5735

●デイサービス癒さぁ
TEL 0766-73-8155 FAX 0766-53-5690

●矢野居宅介護支援事業所
TEL 0766-53-5693 FAX 0766-53-5690

矢野神経内科医院のホームページ

<http://www.yanoshinkeinaika.or.jp/>



社会福祉法人 海友会

●総合ケアセンター「海王」

〒934-0023 射水市海王町25番地
kaiou-care@kaiyuukai.com

●海王デイサービス(定員40名)

●海王ショートステイ(26床)
TEL 0766-83-7111 FAX 0766-83-7122

●海王居宅介護支援事業所
TEL 0766-73-7737 FAX 0766-83-7166
kaioukyotaku@kaiyuukai.com

●軽費老人ホーム・ケアハウス「海王」

(定員54名) 〒934-0023 射水市海王町25番地
carehousekaiwo@pony.ocn.ne.jp
TEL 0766-83-7667 FAX 0766-83-7668

●診療案内

		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
午前	院長	○	○	○	○	○	○
	副院長	○	○	○	他院出張	○	○
午後	院長	在宅関連業務優先	訪問診療	訪問診療	休診	訪問診療	在宅関連業務優先
	副院長	○	○	○	休診	○	○

- 院長[矢野博明]主に脳疾患を担当致します。
- 副院長[矢野博一]主に一般内科を担当致します。
- 受付開始時間8:05～
- 診療時間8:40～12:00 / 14:30～18:00
- 休診日 日曜・祝祭日・木曜午後

●胃内視鏡(胃カメラ)のご案内

		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
午前		○	○	○	×	○	○

予約状況によっては当日の胃カメラも可能です。

居宅介護支援事業所

4月になり新年度がスタートしました。今年
は介護報酬改定の年です。介護報酬とはサービ
スを提供した事業所にその対価として支払われ
る報酬のことで、国が定める基準により算定し
3年おきに改定されます。サービスを利用され
ている方が所得に応じて利用料の1割～3割を
負担し、残りは介護保険から支払われます。介
護保険は国と地方自治体の公費と40歳以上の
の方が納めている介護保険料が財源です。社会全
体で高齢者や介護が必要な方を支えるというの
が介護保険制度の理念です。これからも地域の
皆様の支えになれるよう日々努力していきたい
と思います。

矢野神経内科医院在宅介護家族の会

在宅介護家族の会、会員の皆様お元気に過ごしておられますでしょうか。通常ならこの号では家族の
会新年総会・新年会の楽しいレポートを報告しているはずですが・・・

今年は新型コロナ禍の影響で総会・新年会を含め、すべての行事再開の予定もたない状況です。会
員の皆様には大変申しありませんが、昨年の活動報告、収支決算報告を書面にてさせていただきました。
また、新年会の代わりとして記念品をお送りいたしましたので活用いただけたらと思います。

再開のめどが立ちましたら院内掲示等でお知らせいたしますのでよろしく願いいたします。

介護相談のできる 喫茶矢野 現在休止中・・・